

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
123122077	保育論（実習及び家庭看護を含む）	石原 美菜子	✓		2	選択	2後期

科目の概要

「保育」の意味を理解すると共に乳幼児の発育・発達を知ることにより、ディプロマポリシー③ライフスタイルのデザインに不可欠な専門的知識・技能を身につけることができる授業です。
★日米での30年以上の幼稚園・保育所での実務経験があり、保育者としての専門的知識や現場で培った技術を活かした教育を行います。

学修内容	到達目標
① 子どもの心身の発育・発達過程や子どもを育てることの意味を理解できる。 ② 現代社会の子育て支援について学ぶ。 ③ 乳幼児の発達をふまえ、人的環境としての保育・教育者として役割が理解できる。	① 子どもの発育・発達を学び「子どもを育てる」とは、どのようなことなのか理解できる。 ② 子育てをめぐる社会状況や人々の考え方の変化と、その背景を理解し、必要に応じた支援の内容を調べ、問題解決することができる。 ③ 乳幼児の心身の発達をふまえて人的環境としての保育・教育者・社会の構成員としての役割が理解できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題や次回の授業内容の提示に対し、主旨を受け止め、進んで取り組み、さらに課題を分析するのに必要な知識についてテキストや文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組み続けることができる。
考え抜く力	課題発見力	現代の子育て状況を理解し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントを整理し表現できる。
	傾聴力	他者の話を聞く中で、自分なりの意見や考えとを比較して自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る事ができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし プリントを適宜配布します。
参考文献：随時、授業の中で紹介します。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「生涯学習概論」「ジェンダー論」
資格との関連：中学校教諭一種免許（家庭） 高等学校教諭一種免許（家庭）

学修上の助言	受講生とのルール
・児童福祉法における対象年齢の子どもの発達過程を学び、子育てについての情報、思春期の子どもの情報等に常に関心を持ち、教育者、保護者としての視点で役割を考えるとよい。 ・配布プリント、資料、PCで作成した課題は、講義ごとに整理し、まとめておくとよい。	・携帯電話や私物など、講義に必要がない物はカバンの中に入れておくこと。 ・事前に配布するプリントを読み、予習・復習をして講義に臨むこと。 ・講義中の態度、睡眠、私語、飲食等は学ぶ意思がないとみなし、退室となった場合には、欠席扱いになります。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	30	①	✓			・講義の中で学修した内容が理解できているかを評価する。
				②	✓			獲得：講義内容が知識となり獲得できているかを確認する。（30%）
				③	✓			活用：得た知識をどのように活かすことができるのかを確認する。（30%）
								解決：現代の子育て事情にどのような提案ができるのかを確認する。（40%）
		レポート	30	①	✓			・乳幼児の心身の発育・発達を踏まえ「子どもを育てる」とはどのようなことなのか、保育・教育者・社会の構成員としての役割が理解できているかを評価する。
				②	✓			獲得：乳幼児の心身の発育・発達を踏まえ「子どもを育てる」とはどのようなことなのかを理解できている。（30%）
				③	✓			活用：教育の場でどのように活かすことができるのかを記述できている。（30%）
								解決：現代の子育て事情にどのような提案ができるのかを記述できている。（40%）
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓			・「行事企画」のグループ発表の際に、グループメンバーと共に目標に向けて協力する力を育成することができたかを評価する。
				②	✓			獲得：各自またはグループディスカッションした内容・情報を獲得できている。（30%）
				③	✓			活用：各自調べて得た情報とディスカッションで得た情報を活用できている。（30%）
								解決：まとめた内容から各自の考えや提案が行えている。（40%）
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）課題等の主旨を捉え、進んで取組み自己学修ができたか評価する。	
			②	✓			（実行力）決めたことは最後までやりきることができたか評価する。	
			③	✓			（課題発見力）現代の子育て状況の理解から課題を見極められたか評価する。	
							（創造力）他者と活動する中で多角的に物事を考えることができたか評価する。	
							（発信力）相手に分かりやすい話しのポイント、方法ができているか評価する。	
							（傾聴力）グループ活動の際意見を述べる事ができるか評価する。	
総合評価割合			100					（規律性）授業が円滑に進行するようルールを守る事ができたか評価する。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達目標・課題について、主体的に取り組むことができ、専門知識について自身の見解を論理的な文章で論じることができる。 ① 子どもの発育・発達を学び「子どもを育てる」とは、どのようなことなのか理解し説明することができる。 ② 子育てをめぐる、社会や人々の考え方の変化とその背景を理解し、支援の内容が自己の考えで列記されている。 ③ 乳幼児の心身の発達過程を理解し、保育内容や遊びを主体的に調べ、協力して実施することができる。 総合評価：90点以上 S（秀） 89点～80点 A（優）	レポートにおいて、専門的知識について文章で論じることができる。 ① 子どもの発育・発達を学び「子どもを育てる」とは、どのようなことなのか理解することができる。 ② 子育てをめぐる、社会や人々の考え方の変化と、その背景が解り支援の内容を述べる事ができる。 ③ 乳幼児の心身の発達をふまえ、保育内容や遊びを考え協力して参加できる。 総合評価：79点～70点 B（良） 69点～60点 C（可）

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の目的・進め方 (シラバス)の説明 PC活用方法について 保育と子ども	講義 ・自己紹介 ・質疑応答	保育論では何を学ぶのかを理解することができる。 保育の意味「子ども」の別称、用語と定義を理解することができる。	(予習) 保育と子どもについて個人的見解を書いておく。 (復習) 保育と子どもについて理解した内容をまとめておく。(PC活用)	180	主体性 課題発見力 規律性
2	乳幼児期の子どもの発達	講義 ・前回の学修について質疑応答しフィードバックする。 ・DVDを視聴し感想を書く。	乳幼児期の子どもの発達について理解することができる。	(予習) 事前に配布するプリントを読んでおく。 (復習) 乳幼児期の子どもの発達についてまとめておく。(PC活用)	180	主体性 課題発見力 規律性
3	特別な配慮が必要な子どもの保育 子育て支援	講義 ・前回の学修について質疑応答しフィードバックする。	特別な配慮が必要な子どもの保育・子育て支援について理解することができる。	(予習) 事前に配布するプリントを読んでおく。 (復習) 特別な配慮が必要な子どもの保育・子育て支援についてまとめておく。(PC活用)	180	主体性 課題発見力 規律性
4	年間行事・伝統文化	講義 ・前回の学修について質疑応答しフィードバックする。 ・グループ内で幼児期に経験した年間行事・伝統文化についてディスカッションする。	年間行事・活動を知り、伝統文化が子どもたちにとってどのような影響があるのか自己の考えを述べることができる。	(予習) 事前に配布するプリントを読んでおく。 (復習) ディスカッションした内容を書き提出する。(PC活用)	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	子どもと絵本	講義 ・前回の学修について質疑応答しフィードバックする。 ・演習 (絵本読み聞かせ)	子どもの年齢に応じた絵本を選び、ねらいをもって読み聞かせをすることができる。 子どもにとって「絵本」がどのように影響するのかについて、考えを述べるすることができる。	(予習) 行事に関する絵本を選び持参する。 (復習) 読み聞かせで大切なことは何かを記述する。(PC活用)	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	子どもとあそび 親子ふれあいあそび	講義 ・前回の学修について質疑応答しフィードバックする。 ・行事・伝統文化に関するあそび・親子のふれあいあそびについてその目的を学び、実践する。	子どもがあそびを通して何を学んでいるのかについて実践的に理解する。	(予習) 行事・伝統文化に関する親子で楽しむことができるあそびを調べておく。また、幼少期には、どんなあそびをしたかを書いておく。 (復習) 演習を通して学んだことを表にしてまとめておく。(PC活用)	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	子どもと行事① (行事企画)	講義 ・前回の学修について質疑応答しフィードバックする。 ・グループごとに行事企画内容を考える。	子どもにとっての行事の意味を理解し、内容を企画することができる。	(予習) 企画案を自分なりに考えておく。 (復習) 発表に向けて準備する。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	子どもと行事② (行事実演)	演習 ・行事企画実演	グループで企画した行事内容を実演する。	(予習) 発表に向けて準備をする。 (復習) 実演の振り返りをまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	少子高齢化社会①	講義 ・前回の学修について 質疑応答しフィード バックする。 ・グループワーク	少子高齢化社会につい て、課題と背景を理解 する。 グループ内で意見交換 をし、多面的に考察で きる。	(予習) 少子高齢化社 会で懸念されている問 題とは何かを考えてお く。 (復習) グループでの 意見交換を踏まえて、 自分の意見をまとめて おく。(PC活用)	180	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	少子高齢化社会②	講義 ・前回の学修について質疑 応答しフィードバックす る。 ・少子高齢化社会の背景に ある課題を理解し、自分た ちなりの解決案を考える。 ・グループワーク (発表)	グループワークに積極 的に参加し、自分の意 見を述べるができる。 また、他者の意見 から多面的に考察でき る。	(予習) 講義内容及び 配布プリントを読み返 し、発表する内容をま とめておく。 (復習) 他グループ発 表についての感想をま とめておく。(PC活 用)	180	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	子ども・家庭・地域 との関わり	講義 ・前回の学修について 質疑応答しフィード バックする。 ・グループワーク (発表)	学校や園が保護者・家 庭をはじめ地域の人々 と関わることが、子ど もたちにとってどのよ うな意義をもつのかを 考えることができる。	(予習) 事前に配布す るプリントを読み、身近 で地域の人々との交流につ いて考えておく。 (復習) グループでの意 見交換を踏まえて、自分 の意見をまとめておく。 (PC活用)	180	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	諸外国の保育 子育て・世界の動向	講義 オンデマンド配信 レポート提出「諸外国 の保育・子育てを知 り、日本の保育の特徴 は何か」	世界の教育・保育・子 育てを知ること、日 本の保育の特徴は何か を考えることができ る。	(予習) 事前に配布す るプリントを読んでお く。 (復習) 世界の教育・ 保育を知ること、日 本の保育の特徴は何か をまとめておく。(PC 活用)	180	主体性 課題発 見力
13	これからの保育 子育ての課題	講義 ・前回の学修について 質疑応答しフィード バックする。 ・小テスト	これからの保育・子育 ての課題について考 えることができる。	(予習) 事前に配布す るプリントを読んでお く。 (復習) これからの保 育・子育ての課題につ いてまとめておく。 (PC活用)	180	主体性 課題発 見力 創造力 規律性
14	諸外国と日本の 食文化の違い	講義 ・グループワーク (発表) ・レポート提出「諸外 国の食文化を知り、日 本の食文化の特徴は何 か」	諸外国の食文化を知る ことで、日本の食文化 の特徴は何かを考 えることができる。	(予習) 諸外国の食文 化を調べておく。 (復習) 諸外国の食文 化を知り、日本の食文 化の特徴をまとめてお く。(PC活用)	180	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	保育論まとめ 子どもを育てるとは	レポート作成 ・レポート提出 「子どもを育てると は」 ・14週間の講義内容 についてフィードバ ックする。	講義で学んだ内容を理 解し、「子どもを育て る」ために、人的環境 としてのあり方が理解 できる。	(予習) 講義で学んだ ことを踏まえてレポー ト作成に臨む。 (復習) 今まで学んだ 内容を振り返り、資料 を整理する。	180	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力